

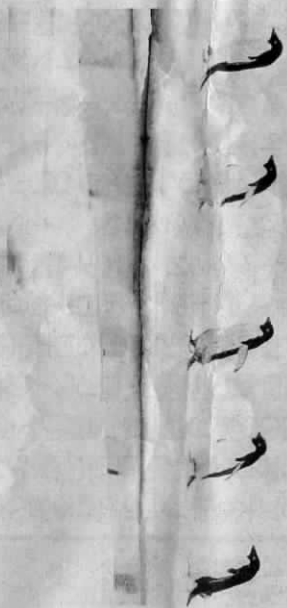
南極のペンギン 鳥インフルエンザ感染

急拡大の様相

【サパウト時事】南米チリの政府機関チリ南極研究所（INACH）は14日までに、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1型）に感染したペンギンが南極大陸で初めて見つかったと発表した。南極大陸では先月に鳥インフルエンザ感染例が初めて確認されたばかりで、集

団で行動するペンギンにも急速に広がる様相を呈してアデリーペンギンなど9羽の感染が確認された。研究所は「大きな発見」と指摘した。南極では先月、アザラシの繁殖地13カ所で標本を採

南極で列をつくって歩くアデリーペンギン2012年1月（EIP A時事）



付近で見つかった海鳥のトウゾクカモメ2羽の死骸から鳥インフルエンザウイルスが検出されている。チリのメリアアによる昨年度、国内では、約1割に相当する約1300羽のペンギンがペンギン感染後に死んだ。